

寺報 善 巧

発 行
☎ 938-0862 富 山 県
下新川郡宇奈月町浦山497
白雪山 善 巧 寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール snow@mount.club.or.jp

寺
ごよみ

四 月

- 一日 下村お講
- 八日 釈尊降誕会
- 一〇日 太子会とお花見
- 一六日 栗虫お講
- 一七日 十七夜聞法会
- 二〇日 黒西組連続研修会
- 二二日 チューリップ摘み飾り
- 二三日 花の誕生会

花の誕生会

二三日九時 お寺の学校
十時 初参式
受式懇志 三千元
申込みは電話で20日まで
☎ 六五-〇〇五五
おしゃかさましんらんさま
おじいちゃんおばあちゃん
おとうさんおかあさん
そして私 みんな生まれた



花の初まいり

第24回

慶びの春 花の誕生会

四月二十三日午前十時

初参式、チューリップ、縁日

昨年十二月、十九年ぶりにインド仏跡参拝の旅に出させていただいた。

今度の旅の目玉のひとつが、アジャンタ・エローラの石窟寺院群の訪問である。ボンベイから内陸部に入つた都市オウランガバード郊外にそれはある。岩山をくりぬいて作られた石窟寺院の数々。ことに庄巻はエローラのカイラーサナータ寺院である。岩山をノミと金槌だけで削りだして作られたまったく継ぎ目のない一つの彫刻ともいふべき建築物である。その大きさを、奥行き八十一メートル、幅四十七メートル、高さ三十三メートルといつてもいいもの。屋上・内外壁などに精緻な装飾をほどこしてある。これが岩山を削りだして作られているのである。八世紀半ばに着手し百年以上の歳月を経て完成したもの。七世代にわたる職人の手になるという。こうした建造物を目の当たりにしたとき、この世がすべて、

永遠のとき

人間は死んだら終いという考え方がいかにちっぽけなものであるかと感じずにはいられない。少なくとも、永遠の時というものを事実として受け入れられる人のみが携わられる事業であろう。法蔵菩薩の五劫の思惟の説。四十里四方の大岩を、三年に一遍天女が羽衣でひと撫でし、その繰り返しの

はてに、大岩が磨り減つて無くなってしまうに要する時間を一劫とし、その五倍の時間をかけて私を救い上げる方策を思惟されたが無量寿経は説く。そんな大岩があるはずがないとインドでは通用しない。デカン高原自体が大きな大きな溶岩台地の岩山なのだから。

釈尊がお歩きになった同じ大地に立たせていただき、無量寿という桁外れにスケールの大きい「時空」というものをインドは感じさせてくれた。

福井千福寺住職
高務 哲量師

空 華

花

空華忌講話

(2)

行信教校教授

山本 攝先生



妙好人と呼ばれた方も、当然一人一人個性がございます。その中で赤尾の道宗という方は、浄土真宗の妙好人の中で最も道徳の実践家だったと言っていると思います。道宗という方は、どうも家柄は武士の血が流れていたそうです。ですから、お父さんにしても、どこかに質実剛健といえますか、質素、儉約、そういう風な厳しい日々の生活の一つの家風としていた家では

なかったのだろうかと言われているのです。一人の人間というのは、その家が生んでいくところがありましてね。皆さん方、この頃家風という言葉を言いますか？これはうちの家風、これはどここの家風というように。ほとんどこの家風という言葉がなくなってきましたね。昔の言葉で言いましたら、論語の「庭訓」という言葉がありまして、その家には

その家の一つの風格というものがあったんですね。それを代々誇りとしてきた。そういうものがあつたのですが、この頃は「家風」「家訓」ということはあんまり言わなくなっていました。これはいい面もあるのかもしれませんが、また、失ってしまったものもあるのじゃないかと思うんです。この赤尾の道宗という方は、どちらかと言えば、非常に厳しい家柄、家風の家で育つた方だったのです。だからお念仏の味わいの中にもそういう厳しい倫理、道徳とかが出てきます。これは道宗という方の一つの特徴だと言ってもいいのではないかと思うのです。例えば、道宗の覚え書きの中に大変おもしろい言葉があるんです。それは第二十一箇条、一番最後ですね。この第二十一条は、私は「道宗の自己との対話」と言ってもいいかと思うんです。ここでは道宗がご法義を聞いて聞いて聞きぬいて、自分

自身の心と対話をされるんです。どういう対話をされるかというところ、こういう言葉があるんですよ。

「浅まし我が心や。後生の一大事をとぐべきことならば、一命をも物の数とも思わず、仰せならば何処の果てへなりとも背き申すまじき心中なり。」

心中とは心持ちということとです。お念仏というのは、本心に聞きますと、そのお念仏を聞くことによつて、自分自身の包み隠さない姿というものが明らかにされてくるのです。逆にそういう聞き方ではなかったならば本心に聞いたとは言えない。自分は自分でここに置いて、ご法義はご法義でここ、勉強は勉強でここだ、そういう風に使い分けしていったら、結局みんな偽物になつてしまふんです。むしろ仏法とは、私とは一体何者なのか、自分は何なんだろうか、ということ問うていく世界なんです。本心に身に付いたお聴聞をし

ていったならば、そのご法義を聞けば聞くほど自分の心の醜さ浅ましきというのが明確になつてくる。なにもへんに自分は浅ましい浅ましいとずっと卑下しつづけるんじゃないで、自分の本当の姿が明らかになつてくることによつて、だから少しでも一日の生活では自分自身を抑えてね、そして社会の道徳やいろんな世法を守つて、きちつと生活をしていかなければならない、というところから倫理や道徳が生み出されてくるんです。最近なにかしら宗教と道徳は別物だという理論を耳にします。宗教は宗教、道徳は道徳、それは二つ別物と。たまに宗教家の中でも、道徳はこれは世間のことだから低いもので、宗教というのは自分の信仰の問題だから高級なんだ、そんな言い方をする方がちよつとおるんですけれど、私はそれはおかしいと思うんです。道徳を離れた宗教なんかは絶対意味がないで

しょう。道德として働かない宗教なんかは宗教として存在する意味がない。逆に、宗教を持たない道德というのどこかおかしいんじゃないか。全く宗教を知らない道德というのはどこかに自分がないか良いことが出来るという自分に対する思い上がり、自信がつきまってくると思うんです。だから、これは丁度車の両輪のように、両方ともそなわったものでなかったら本当の宗教とは言えないし、本当の道德とは言えない。浄土真宗で真俗二諦という言葉があるんですけども、これも車の両輪みたいなもので、両方ともそなわったものでなければ本当の宗教とは言えないし本当の道德とも言えないだろうと思うんです。そういう意味で浄土真宗の道德を考えていく時に、赤尾の道宗という方の言葉というのは非常に参考になると思うんですね。

その二十一条を少し難しいですけどももう一度読んでみましょう。

「浅まし我が心や。後生の一大事をとぐべきことならば、一命をも物の数とも思わず、仰せならば何処の果てへなりとも背き申すまじき心中なり。」

この私の心というのは、ご法義を聞けば聞くほど、なんと浅ましい心であったのだろうか、もしこの私が後生の一大事、この人生で一番大事なことに気が付いて、そして臨終一念の夕べに仏さまのお覚りを聞かせてもらおうという一大事を完成させてもらうためならば、この一命は物の数ではないんだ。私の身命をなげうつてもかまわないんだ、と。

「仰せならば何処の果てへなりとも背き申すまじき心中なり。」

これは、もし善知識様の仰せであつたならばどこへでも私は出かけて行きますよ。たとえば、唐天竺へも出かけて行くような覚悟を自分にしておりますよ、と、この道宗という方はおっしゃ

てらっしゃるんです。御一代記聞書の中にも道宗の言葉が四回ほど出てきます。その中に道宗の一面を伝える有名なエピソードがいくつかあるのですけれども、最も有名なものは、道宗が「自分の一日の勤めは朝事をかかさないのでおう」これを一日の心掛けにしておつた。そして、自分の一月のたしなみとしては、必ずお手次ぎのお寺に参詣をさしていただいて親鸞聖人のご真影様にご挨拶申し上げる、そうでなければ自分は一月の勤めを果たしたとは言えない、と。そして一年の勤めは、必ずご本山にお参りしよう、そこでご存命であつた蓮如上人の様々なお話を聞かせてもらおう、これが自分のたしなみなんだ、と道宗が述べられたところなんです。この言葉通り、一日、一月、一年に自分のたしなみを実践していかけた、そういう方だったので

(次号へつづく)

行信仏教学院卒業式

昨年三月突然行信入学を

さい。

志した長女有花でしたがこの度無事に卒業しました。少しばかり門をくぐらせていただいたようでも更に行信教校へもご縁を頂きたいと先へ進む事になりました。とはいってものの大事な時にはいつでも帰りますのでご安心下



成人式 おめでと

1/10

今年から成人式の日が変わったので、御正忌参詣の皆さんには晴れ姿を見ていただくことができません

したが、今年も雪ん子OB Gが仏前で奉告、御札をしました。(一行に遅れてあと二人がかけつけました)



御 正 忌

1/16

一月十五、十六日の御正忌報恩講には大阪の佐々木徹生師がご出講くださいました。明教院僧鎔師のお墓

の前で写真を是非ということとで、総代、仏婦、お世話の方が勢揃いして記念撮影をしました。



富山教区仏婦連盟 新春の集いに出席

1/19

一月十九日、富山第一ホテルで、富山教区仏婦連盟新春の集いが開催されました。善巧寺仏婦から四名が参加。魚津桃原寺仏婦の方々と親睦を深めました。



白鳥の

北へ帰るや

春の湖

春浅き今日

白鳥は

いざ北へ

喜子



第3回 カラオケ

2月27日

祝善巧寺第3回カラオケ大会



新総代さん紹介 (敬称略)



丸田 進
(中 陣)



開沢 茂
(栃 沢)



鬼原 六義
(浦山新)



八木 秀雄
(浦 山)



谷口 源作
(下 立)

教化推進協議会

3/20

三月二十日午後、今年度教化推進協議会が開催されました。

まず本堂で『真宗宗歌』『重誓偈』をお勤め、副住職の法話を聞いて、門徒会館に移りました。

出席者は、総代二十三名、教化団体より六名、寺方八名の計三十七名。

*出席地区 内山・愛本新・下立・浦山・下村・栃屋・熊野・浦山新・東狐・板屋・三日市・栃沢・中陣・石田・生地
進行役に聞法会の中山慶

善巧寺仏教婦人会

十二年度の役員は次の方々です。
ご協力のほどよろしくおねがい申し上げます。

会長

沼田みさを

会計 大藪 実子
書記 岡田キクノ
会計 野畑美紀子



平成12年 行事予定

- 1月 修正会、かるた会、栗虫報恩講、御正忌報恩講、仏婦連盟教区新年会
- 2月 三日市・生地・荻生・下立・舟見・入善・栃屋・熊野報恩講、カラオケ
- 3月 浦山報恩講、仏婦連盟組総会、教化推進協議会、雪ん子春の公演、下三日講助成会
- 4月 太子会、花の誕生会、仏婦連盟教区総会
- 5月 専精舎夏安居と本山参拝
- 6月 野休み落語会
- 7月 永代祠堂会 (講師 高務哲量師)
- 8月 青年盆会、こども盆踊り、盆会、雪ん子夏の定期野外公演
- 9月 ゴルフ大会、報恩講 (富山・滑川)
- 10月 報恩講 (魚津・田家・窪野・柳沢・経田・東狐・青木・上下飯野・高畠・新浜・板屋)
- 11月 空華忌 梯實圓和上ご来講、報恩講 (上野・出・中新・中陣・栃沢・浦山新・石田)
- 12月 報恩講 (愛本新・中の口・赤田・下村・大橋・下立愛本・内山・音沢)、もちつき、除夜会

月 常 例

- 1日、16日 お講
- 17日 聞法会
- 第1火曜日 花の会
- 毎月曜日 雪ん子劇団ジュニア

梯實圓和上ご来講

11月4～5日 空華忌

一さんを選出して議事に入りました。

十一年度の行事報告、会計報告。続いて十二年度の行事予定、会計予算案を承認しました。

行事報告では、カラオケ実行委員長嶋田久之さんと仏婦前会長菊地れいさんから報告がありました。また、善巧寺仏婦と改まった第一回会長に就任された澤田みさをさんが紹介されました。

ある総代から、総代と一般の会費の金額に何故差があるのかという質問があり、意見が交わされましたが、採決を取った結果、現状の

まま、総代は一万二千元、一般九千元と議決されました (反対二名)。

また、門徒報恩講の時の昼食当番が大変なのでお寺から中止して欲しいと提案がありました。これは地域によって事情が異なるのでそれぞれの地区で相談していただくことに。

他の総代から「法事の長い読経の間退屈なので経本を借りられたらいいのだが」という話。他の寺の門徒から出たが、このお寺ではどうしているのかという質問が出ました。

善巧寺では、門徒の法事・

年中行事の法要などの際、法要の意義・作法・お勤め次第・お勤めの内容などを書いた小冊子を渡していることが説明され、安心して頂けたようです。

予定の時間が過ぎるまで活発な討論が続きました。

この善巧寺教化推進協議会が、寺と門徒が同じ方向を向き浄土真宗護持発展につながる場となることが願われます。最後に野島総代表代理が挨拶して四時十五分に閉会しました。

この後、懇親会となりお酒を酌み交わして親睦を深めました。



OGが嬉しい報告
大学卒業の報告にきてくれました。大学合格や入社報告など喜びのたびにかけつけてくれることは嬉しい限りです。

雪ん子劇団春の定期公演



花束を手に感動の卒業生



会館ホールを埋めた雪ん子の家族

平成11年度決算

(収 入)		
1. 布施収入	10,717,579	
年中行事	1,523,233	
門徒法要	9,194,346	
2. 会 費		
(寺費かかり銭)	4,875,000	
3. 雑収入	30,000	
4. 繰越金	1,368	
合 計	15,623,947	
(支 出)		
1. 寺院維持費	2,508,270	
宗派課金	313,995	
公租公課	142,960	
営繕修理費	1,496,583	
保 険 料	554,732	
2. 寺院運営費	5,811,815	
教 化 費	1,040,294	
法 要 費	1,447,855	
会 議 費	88,505	
門徒接待費	536,513	
事 務 費	496,829	
管 理 費	1,791,819	
専門教育費	300,000	
交 際 費	110,000	
雑 費	0	
3. 人件費	7,200,000	
4. 予備費	0	
合 計	15,520,085	
*差 引	+	103,862

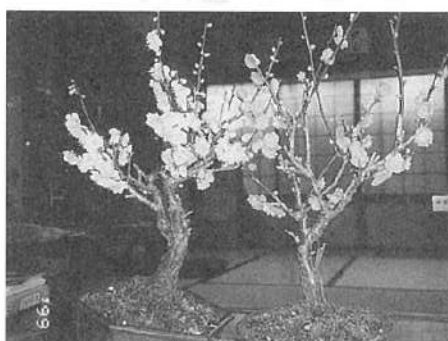
平成12年度予算

(収 入)		(単位：円)
1. 布施収入	10,000,000	
年中行事	1,300,000	
門徒法要	8,700,000	
2. 寺 費	5,000,000	
3. 雑収入	196,138	
4. 繰越金	103,862	
合 計	15,300,000	
(支 出)		
1. 寺院維持費	2,500,000	
宗派課金	400,000	
公租公課	150,000	
営繕修理費	1,400,000	
保 険 料	550,000	
2. 寺院運営費	5,200,000	
教 化 費	950,000	
法 要 費	1,250,000	
会 議 費	100,000	
門徒接待費	500,000	
事 務 費	500,000	
管 理 費	1,500,000	
専門教育費	300,000	
交 際 費	100,000	
雑 費	0	
3. 人件費	7,200,000	
4. 予備費	400,000	
合 計	15,300,000	

寺
こよみ

六 月

一日 東狐・上野お講
一三日 野休み落語会
一六日 音沢お講(三)
一七日 十七夜聞法会
二〇日 黒西組連続研修会



寺
こよみ

五 月

一日 音沢お講(一)
一六日 音沢お講(二)
黒西組連続研修会
一七日 十七夜聞法会
二二日 仏教団花まつり
二五日 専精舎夏安居参詣
二七日

第二十四回

花の中の初まいり

四月二十三日 十時

赤ちゃんが生まれたらまず
お寺で初まいりを。

人として生まれたご縁を感
謝し、いのちの尊さを心にき
ざみましよう。

懇 志 三千円

申し込み 二十日まで

電 話 六五〇〇五五



第二十三回

野休み落語会

六月十三日 pm 七時半

出演 永 六輔

柳家小三治

入船亭扇橋

入船亭扇治

手 品 花島世津子

会 費 二千五百円



太子会 四月十日

九時 法要・懇談 正午 温泉・花見

会費 男性四千元 女性三千五百円

和国の教主聖徳太子の祥
月法要です。例年通り近在
の花見の名所めぐりをして
天神山温泉へ。どなたでも
ご参加ください。



専精舎と本山参拝
五月二十五〜二十七日

最終日の入舎式、会読を見
学してお聴聞。翌日は本山参
拝と京都見物。おかみそりを
受けた方はぜひどうぞ。

期 日 五月二十五

〜二十七日

会 費 二万円前後

申し込み お早めに電話で



ご報告

住職は四月から京都に居を移し、一から勉強をやりな
おすことになりました。その間の法務は行信に通いな
がらの副住職と坊守が勤めます。よろしくご了解ください。

合 掌

二月に入っての大雪、ちよつ
と驚きましたね。

寒さのまじな内に、教化
推進協議会や雪ん子劇団の
公演を終えてはつとしまし
た。

二月十六日のお講では、
風邪で住職の顔色がさえず、
その後のほんこさんも副住
職や坊守が代わったので皆
さまにご心配をかけたまし
が、健康を取り戻し、上記
のように今は京都におりま
すのでご安心下さい。

住職は京都、副住職は行
信、有花ももう少し学びた
いということ、三人姉弟
そろって関西暮らしになり
ますが、何かという時はす
ぐ帰りますので、ご了承の
ほどをお願い致します。

